

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成30年6月12日
タイトル	福山の宝「スイゲンゼニタナゴ」保全に向けて2018
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成30年5月31日（月）「芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会総会」が開催されました。スイゲンゼニタナゴは、最も絶滅の心配が高いため『種の保存法』で国内希少野生動植物種に指定され、許可のないまま「捕獲・飼育・販売・放流」することは厳しく禁止されている貴重な魚で、国内では岡山県と広島県に生息しており、広島県では芦田川水系にのみ生息が確認されています。

この小さな魚を守るため「芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会」が発足し、水土里ネット福山が管理する「芦田川用水」に生息していることから協議会の一員として保全活動を行っています。

「芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会総会」では、岡山大学大学院環境生命科学研究科准教授の中田和義氏を会長に有識者や地元の土木常設員、広島県・福山市の関係課、水土里ネット福山等会員が参加しました。



協議会では、平成29年度事業報告・収支決算報告、平成30年度事業計画・収支予算案等について協議されました。事業報告では水土里ネット福山が小学校で行った「農業用水路とスイゲンゼニタナゴ」の出前授業も活動の一環として報告されました。

水土里ネット福山が維持管理している農業用水路で毎年実施しているスイゲンゼニタナゴの産卵母貝調査や平成29年度に施行した農業用水路の浚渫についても報告されました。

協議会では各分野の専門家や地域住民が、それぞれの立場や専門的な意見を出しあい充分協議して事業を推進しており、会員全員が「スイゲンゼニタナゴを守る」という目標に向かって一丸となっています。



産卵の瞬間を捉えた映像



実際の農業用水路で生息している様子

「この保全活動について水利関係者の協力は他地域では見られない。」との意見があり、水土里ネット福山を評価していただきました。

水土里ネット福山では、スイゲンゼニタナゴを保全し、その受け皿となる農業用水路において多面的な機能を発揮することが、21世紀土地改良区創造運動の理念と通じるため、農業用水路の健全な維持管理や用水の安定確保とともに水辺環境の保全に努め、農業用水路の役割と重要性を発信してまいります。

